



## 死にたくないけど、避けられない死を考える

眞鍋由比

A cat has nine lives. (猫は9つの命がある) という英語の言い回しがあります。猫を飼っている身としては、一度でも死なれるとあと8回生まれ変われるんだ、と思って遺された身をなぐさめることができるのかしら。人間には命は一つしかないけど。

9月27日(火)に中学2年生に『恋ちゃん はじめての看取り』という本の読みきかせをしました。そのとき、二人ほど泣いてくれたようで、生徒ってなんて繊細なんだろうと、読んだこちらの方が感動しました。死んでしまったら生き返らない。それは死に直面した人間の実感。

『航路』上・下 コニー・ウィリス著 ヴィレッジブックス2004 は夏の読書運動でも推薦リストに入っていた本です。臨死体験とはどういうものかを、探し求める小説です。主人公は認知心理学者のジョアンナ。NDE (Near Death Experience=臨死体験) を科学的に解明すべく、病院のなかを臨死体験者をたずねて聞き取りをする毎日。ある日リチャードというハンサムな神経内科医が人工的にNDEそっくりの幻覚を誘発できる薬剤を見つけたから、その薬で擬似NDEを引き起こし、NDE中の脳の状態を記録するプロジェクトと一緒にやってほしいと頼まれる。色々な被験者が来るのだけど、満足な事例は一つもない。こうなったら自分でやるしかない、とジョアンナは自らNDE状態に潜ることを決心するのですが…。

病院の中が継ぎ足し継ぎ足しの建築で迷路みたいになっていて、なかなか目的地にたどりつけなかったり、似非ノンフィクションライターや狂信的な証言おばちゃんから逃げ回りながら、本当のNDE状態の証言を求めさまよう姿は滑稽ですが、心臓病だけ健気でものすごい情報収集力の少女メイジーや、親友で頼もしいERの看護師ヴィエル(二人でDVDを観るディッシュ・ナイトがとても楽しそう)、婚約者が不慮の死をとげた美人のキット、高校時代にお世話になった厳しいブライアリー先生となかなか魅力的なキャラクターがそろいます。最初、死ぬと思っていた患者が心臓発作で謎の「58」という言葉を残して死んでしまいます。もう少しでわかりそうなその謎が解けたとき、ジョアンナ自身が遭遇したNDEが何の場面なのか、そして他の患者とのNDEの違いは何を意味するのか、やっと真理にたどりつくのですが…。

章の扉に必ず有名無名の臨終の言葉が載っています。「もっと光を！」ゲーテ、舞踊家のイサドラ・ダンカンの惨めな最期(車のホイールにスカーフがひっかかって窒息死)、「この問題を解くまで待ってくれ」といって兵士に殺されたアルキメデス、「天国では耳も聞こえる」と前向きなベートヴェン、ギロチンにかかる前に死んでも意識があることを証明するために瞬きをするといったラボアジェ…どれほど偉大な人でも死だけは避けられない。

勇敢な少女メイジーは死と隣り合わせのせいか、世界史上の大災害に詳しく、サーカスがどの曲を演奏していたら動物が脱走したのだ、と教えてくれたりする。

そのなかでも自分の救命胴衣を子供にゆずったり、ボートの順番を家族連れに代わってあげたり、人をすくうために犠牲になる人のエピソードが語られます。タイタニックで一番先に逃げた船長の話もあるけれど。(昨今スペインや韓国でもありましたね)

ジョアンナはリチャードに真理を伝えることができないまま、死の世界に行ってしまいます。遺されたリチャードやヴィエルやメイジーたちはどうしてもジョアンナが伝えたいことを知ろうとする。そして奇跡が起こるのです。いつも誰かの役に立って生き、死にたいと思っていたジョアンナは、どうしたのか？

日本で今年一番ヒットした映画「君の名は」の監督がこの小説の影響を受けたそうです。夢と現実の織り成す物語は死と生の世界で思い合いながら会えない男女と似ているかな。でもこの小説は一応ハッピーエンドにはなりません。(救われるべき人が救われる・・・全てではないけれど)

死んだらどうなるか、なんて生きているうちはわかりませんよね。死に直面して自分の命が助かりそうにないときでさえ、誰かを救おうとする勇気は残された人にどれほど大きな力をくれることでしょうか。私はりっぱな死に方なんてできそうにないけど、人生のうちでなにか人の役に立てたらいいなと思った一冊でした。

でも『航路』って題は人生全体を意味するからこうしたんだろうけど原題Passageの訳としてはどうかな。行き来する「通路」という意味をもっと込めてほしかった気がしました。ジョアンナが行き来した「道」だったから。

他のグループの読み聞かせの本は『100万回生きたねこ』『だいじょうぶ だいじょうぶ』『わすれられない おくりもの』『ずーっとずーっとだいすきだよ』『おじいちゃんがおばけになったわけ』全て図書館にあります。